

外国語活動学習指導案

指導者 T1 高原 知世
T2 中田 恭司(HRT)

- 1 学年 第6学年2組(29名)
- 2 単元名 What do you want to be? (We Can!2 Unit8)
- 3 単元について

本単元は、ドリームマップを作成し、クラスの友達と自分の将来の夢について紹介し合うことを単元のゴールとして設定している。

本単元では、“I want to be ~.”を用いて、将来何の職業に就きたいかを伝えることに加えて、既習表現を活用して現在の自分の得意なことや頑張っていること等について表現することを通して、現在の自分と将来の自分を関連付けながら友達に紹介する内容を考えられるようにする。そして、それらを基にドリームマップを作成したり、スピーチしたりできるようにする。また、単元のゴールにおいて、スピーチを聞き合ったり、ドリームマップを読み合ったりする際に、友達が話したり書いたりしている内容を大まかに理解することができるようにする。そのために、ゴールに向かう過程では、まず、基本的な表現に音声で十分に慣れ親しませる。そして、例を参考に自分に関する文を書かせる。その上で、音と文字を関連付けながら指導者や友達が書いた文を読む活動を仕組む。これは、新学習指導要領の「読むこと」の言語活動例に示された「(エ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。」と合致する。

こうした学習活動を通して、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を関連付けながら、それぞれの力を養っていく。

本学級の児童は、昨年度より週に2時間の外国語活動を行っている。学習内容については、新学習指導要領に示されている内容を踏まえ、「書くこと」及び「読むこと」についても児童の実態に合わせて指導している。

10月に行ったアンケート調査では、「英語の文字(アルファベット)を読むことができます。」という項目に対して90%の児童が肯定的に回答しており、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することについては、大部分の児童に定着しているといえる。しかし、「英語を読む時には、単語や表現の意味を考えながら読んでいます。」の項目では、25%の児童が否定的に回答している。この結果より、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにすることに課題があり、改善のための手立てを講じる必要がある。また、「外国語活動(英語)の授業にすすんで参加しています。」という項目では90%の児童が肯定的に回答したのに対し、「外国語活動(英語)の授業以外で英語を使ってみたいと思います。」という項目では、肯定的回答が62%であった。このことから、外国語に対する興味・関心が授業の中だけに留まっているといえる。こうした実態を踏まえ、特別活動や国語科での学習と関連付け、前単元“My best memory”と本単元の学習を組み合わせ、英語版の文集を作成する言語活動を設定した。このような外国語の授業だけで完結しない教科横断的な学びの経験を通して、授業以外でも外国語を活用する意欲につなげていきたいと考える。

4 単元目標

【コ】他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。

【慣】将来就きたい職業等について、聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しむ。

例を参考に語と語の区切りに注意しながら書くことに慣れ親しむ。

【気】職業名等について、音と文字の関連に気付く。

5 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
① 他者に配慮しながら、 将来の夢について伝え 合おうとしている。	① 将来就きたい職業等について、聞いたり 言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 ② 将来の夢について簡単な語句や基本的 な表現で書かれた英語を推測しながら 読むことに慣れ親しんでいる。 ③ 例を参考に語と語の区切りに注意しな がら書くことに慣れ親しんでいる。	① 職業名等について、音と 文字の関連に気付いて いる。

6 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	現在の自分と関連付けてドリームマップを作成し、クラスの友達と自分の将来に夢について紹介し合う。
目指す児童の姿 (話すこと)	A : What do you want to be? B : I want to be an (astronaut). I like watching stars. My best memory is school camp. I saw a lot of stars. It was beautiful. I study science hard. A : That's good. Good luck. B : Thank you. What do you want to be? A : I want to be a (cook).
目指す児童の姿 (書くこと)	I want to be an astronaut. I like watching stars. My best memory is school camp. I study science hard.

7 言語材料 (下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<u>What do you want to be?</u> <u>I want to be a (cook).</u> I want to (make delicious foods). I like (eating foods). I'm good at (cooking). I study (home economics). <u>I practice (cooking omelet).</u> <u>That's good. Good luck.</u>	職業 [artist/astronaut/baker/bus driver/dentist/ comedian/farmer/figure skater/pilot/zookeeper/ singer/flight attendant/train conductor/pianist] 動詞の過去形 [went/ate/saw/enjoyed/was] 教科, 状態・気持ち, 動物, スポーツ, 飲食物, 動作, 身の回りの物, 行事

8 単元計画

時	目標 (◆), 主な活動 (○), やり取り (★), 誌面上に記載【 】	評価規準・評価方法
1	<p>◆単元の見通しを持つとともに、就きたい職業を聞いたり言ったり、書いたりする。</p> <p>★Small Talk①6年間の成長を振り返り、未来の自分を想像する。(T↔S) 「自分の将来の夢を紹介する」という単元の見通しを持つ。</p> <p>○児童の発言と誌面をもとに職業の言い方を知る。</p> <p>○Pointing Game 【Let's Watch and Think①】 p.59</p> <p>★Small Talk②What do you want to be?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : What do you want to be? B : I want to be a (vet). How about you? A : I want to be a (baseball player).</p> </div> <p>○Let's Read and Write <将来就きたい職業> “I want to be a (doctor).”</p>	<p>【慣①③】</p> <p>行動観察 ワークシート 振り返りカード分析</p>
2	<p>◆将来の夢と関連付けて、現在の自分の好きなことを聞いたり言ったり、書いたりする。</p> <p>★Small Talk①行きたい国とその理由 (S↔S)</p> <p>○Sound and Letters</p> <p>★Small Talk②将来の夢について指導者のスピーチを聞き、やり取りをする。(T↔S)</p> <p>【Let's Watch and Think②】 p.60</p> <p>★Small Talk③What do you want to be? Why? (S↔T) → (S↔S)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : What do you want to be? B : I want to be a (vet). A : Why? B : <u>I like (animals).</u> How about you? A : I want to be a (baseball player). <u>I like (baseball).</u></p> </div> <p>○Let's Read and Write <将来の夢の理由 (好きなもの)> “I like (BLACK JACK).”</p>	<p>【慣①③】</p> <p>行動観察 ワークシート 振り返りカード分析</p>
3	<p>◆将来の夢と関連付けて、現在の自分の得意なことを聞いたり言ったり、書いたりする。</p> <p>★Small Talk①休日にしたいこととその理由 (S↔S)</p> <p>○Sound and Letters</p> <p>★Small Talk②将来の夢について指導者のスピーチを聞き、やり取りをする。(T↔S)</p> <p>【Let's Watch and Think③】 p.60</p>	<p>【慣①③】</p> <p>行動観察 ワークシート 振り返りカード分析</p>

	<p>★Small Talk③What do you want to be? Why? (S↔T) → (S↔S)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : What do you want to be? B : I want to be a (vet). A : Why? B : I like (animals). <u>I'm good at (science).</u> How about you? A : I want to be a (baseball player). <u>I'm good at (playing baseball).</u> I like (Hiroshima Toyo Carp).</p> </div> <p>○Let's Read and Write <得意なこと> "I'm good at (speaking English)."</p>	
4	<p>◆将来の夢と関連付けて、現在の自分の頑張っていることを聞いたり言ったり、書いたりする。</p> <p>○Sound and Letters</p> <p>★Small Talk①What do you want to be? Why? (S↔S)</p> <p>★Small Talk②将来の夢について指導者のスピーチを聞き、やり取りをする。(T↔S)</p> <p>★Small Talk③What do you want to be? Why? (S↔T) → (S↔S)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : What do you want to be? B : I want to be a (vet). A : Why? B : I like (animals). I'm good at (science). <u>I (study science) hard.</u> How about you? A : I want to be a (baseball player). I'm good at (playing baseball). <u>I (practice baseball) hard.</u> B : That's good. Good luck.</p> </div> <p>○Let's Read and Write <頑張っていること> "I (study/practice) ~ hard."</p>	<p>【慣①③】</p> <p>行動観察 ワークシート 振り返りカード分析</p>
5 本 時	<p>◆文字の音の読み方を手掛かりに、簡単な語句や基本的な表現を読み、意味が分かる。</p> <p>○Sound and Letters</p> <p>★Small Talk①What do you want to be? Why? (S↔S)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : What do you want to be? B : I want to be a (vet). A : Why? B : I like (animals). I'm good at (science). I (study science) hard. How about you? A : I want to be a (baseball player). I'm good at (playing baseball). I (practice baseball) hard. B : That's good. Good luck.</p> </div> <p>○音声と絵をヒントにどの言葉を表しているか選択し、文を組み立てる。</p> <p>○Let's Read and Write <将来就きたい職業 (ドリームマップ)> I want to be a (nurse).</p> <p>○書かれている内容を読み、誰のドリームマップかを見つける。</p> <p>○文字の持つ音を手掛かりに、文章から何になりたいかを読み取る。</p>	<p>【慣②, 気①】</p> <p>行動観察 ドリームマップ 振り返りカード分析</p>

6	<p>◆将来の夢と現在の自分を関連付けて、話したことを基にドリームマップを書く。</p> <p>【Let's Listen】(反応への気づきを促す) p.61</p> <p>★Small Talk What do you want to be? Why? (S↔S)</p> <p>○Let's Read and Write 〈ドリームマップ〉</p> <p>○グループでドリームマップを紹介し合い、アドバイスし合う。</p>	<p>【慣②③】</p> <p>行動観察</p> <p>ドリームマップ</p> <p>振り返りカード分析</p>
7	<p>◆将来の夢について、伝える内容を整理して、自分の考えを話す。</p> <p>○グループでスピーチを聞き合い、コミュニケーションの視点でアドバイスし合う。</p> <p>★クラスで『My Dream』のスピーチ大会をする。</p>	<p>【コ①】</p> <p>行動観察,</p> <p>振り返りカード分析</p>
8	<p>◆音声で慣れ親しんだ基本的な表現の意味がわかる。</p> <p>★クラスで『My Dream』のスピーチ大会をする。</p> <p>★教室内に掲示したドリームマップを読み合い、内容についてコメントを書く。</p> <p>※完成したドリームマップは、前単元で作成した“My best memory”の原稿と組み合わせて、英語版の文集にまとめる。</p>	<p>【コ①, 慣②】</p> <p>行動観察</p> <p>コメントカード</p> <p>振り返りカード分析</p>

9 本時の計画

(1)目標

文字の音の読み方を手掛かりに、簡単な語句や基本的な表現を読み、意味が分かる。

(2)評価規準

【気】 職業名等について、音と文字の関連に気付いている。

【慣】 将来の夢について書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。

(3)準備物

職業絵カード、語句カード、TV、ドリームマップ、振り返りカード

(4)展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準 (評価方法)
1 挨拶をする。	<p>○全体に挨拶し、個別に数名の児童とやり取りをする。</p> <p>Hello. How are you?</p> <p>What day is it today?</p> <p>What's the date today?</p>	
2 Sound and Letters T1 の発話を聞き、発話された単語のつづりの最初のアルファベットを推測する。	<p>○イラストを示しながら複数回聞かせ、その上で文字を見せることで、音と文字及び意味と文字を関連付けさせる。</p> <p>○小文字を正しく書き分けることに慣れさせる。</p>	

3 Small Talk①

ペアの友達と将来の夢について、自分の考えや気持ちを伝え合う。

○これまでに学習した表現を使って、自分の将来の夢についての自分の考えや思いを伝え合わせる。

〈会話例〉

S1 : What do you want to be?

S2 : I want to be a vet.

S1 : Why?

S2 : I like animals.

I want to help many animals.

I study science hard.

How about you?

S1 : I want to be a baseball player.

I like baseball.

I practice baseball hard.

Aim : 自分の将来の夢を書いたり、友達の将来の夢を読んだりして、思いや考えを交流しよう。

4 Activity

イラストや文字の持つ音を手掛かりに表現を推測し、ペアで語句カードを並べて、文を作る。

〈活動の流れ〉

1. イラストを手掛かりにペアで語句カードを並べ、文を作る。
2. 文を読み聞かせ、音声と出来上がった文の関連を確認する。
3. 語句カードを並べる際に

○“I” “want to” “ be” “職業”でそれぞれ色を変えた語句カードを配布し、語順を考えながら並べられるようにする。

○どの語句カードが適切か判断する際に、職業の部分はスペルの最初のアルファベットの音を手掛かりに推測させることで、音と文字を関連付けさせる。

○職業名等について、音と文字の関連に気付いている。

【気】

(行動観察、語句カード、振り返りカード)

5 Let's Read and Write

将来就きたい職業について、指導者とやり取りをしながらその書き方を確認し、例を参考にドリームマップに書く。

Ex) I want to be a (nurse).

〈活動の流れ〉

1. 数名の児童につきたい職業を質問し、やり取りする。
2. 児童が答えた職業を、音と文字を関連付けながらホワイトボードに書き、例を示す。
3. 例や既習のワークシートを

○これまでにやり取りしてきた内容を基にどの職業を書くかを考えさせる。

○書き方を確認する際には、職業のスペルにあるアルファベットの音と文字を関連付けながら進めることで、次の「読む」活動へとつながるようにする。

○書きたい職業のスペルがわからない場合は質問させ、必要に応じてスペルを示すことで、児童の思いが実

6 Let's Read①

クラスの中で誰かが書いたドリームマップを読み、誰が書いたものかを見つけるとともに、相手の夢についてやり取りをする。

〈活動の流れ〉

1. 一度ドリームマップを回収し、ランダムに配布する。
2. 配布されたドリームマップに書かれている内容を、文字と音の関連を手掛かりに、推測して読む。
3. 複数の友達と就きたい職業を尋ね合い、読み取った内容と話す内容が合致する友達を見つける。

7 Let's Read②

将来の夢について書かれた原稿を読み、その内容についてやり取りをする。

〈活動の流れ〉

1. 配布された原稿を読み、内容を推測する。
2. 文章が読まれる音声を聞いたり、声に出して読んだりする中で、書かれている文字と音声を関連づける。
3. 文字の読み方や内容について指導者からの質問に答え、やり取りをする中で、文字と音

現できるようにする。

○読むことに困難を示している児童には手掛かりになる音を聞かせる等の支援をし、語句や表現の読み方に気付けるようにする。

○書いた人を見つける際には、将来就きたい職業を尋ね合うやり取りを通して、書かれている語句や表現から自分が読み取った内容と友達が話す内容が一致しているかどうかを確かめさせる。

○書いた人を見つけた際には、書かれている内容について詳しく聞き、コメントを送らせることで、友達の思いや考えを大切にさせる。

〈会話例〉

S1 : What do you want to be?

S2 : I want to be a soccer player.

S1 : This is your Dream map. Why?

S2 : I like baseball.

I'm good at playing baseball.

I practice hitting hard.

S1 : That's good. Good luck.

○繰り返し読んで聞かせることで、文字と音の関連に気付かせるとともに、それを手掛かりに表現の意味を推測させる。

○原稿を読んだ後に、内容について児童とやり取りをすることで、原稿に書かれている語句や表現とその意味を関連付けさせる。

○将来の夢について書かれた英語を推測しながら読むことに慣れ親しんでいる。【慣】
(行動観察、振り返りカード)

8 本時の授業を振り返る。
挨拶をする。

例) アルファベットの読み方をヒントにすると、書かれている文を読んだり、意味を理解したりすることができた。友達が書いたドリームマップを読むと、友達のなりたい職業がわかった。他にも色々な友達のドリームマップを読みたいと思った。